

No.・区分	10901	ハード部門(土木)
タイトル	橋脚築造工事における先行手摺足場	
動機・改善前の状況	橋脚(ハイピア)築造の為、高さ約 40m足場が必要であった。通常地上で大組した足場を吊り込み設置する場合、作業員が組み立て途中(躯体側)の足場最上段に乗り作業を行う。しかしその状態では親綱程度しか安全柵を設置できず非常に墜落・転落の危険性が高かった。	
改善・実施事項	地上で足場を大組する際に、大組みする足場(これから設置する足場)最上段に先行手摺を設置することとした。	
改善効果	地上で大組みした足場最上段に先行手摺を設置・組み立てることで、その上に更に足場の嵩上げする場合の手摺(安全柵)となり、安全性が向上した。また親綱より賢固であり作業員の安心感も増加した。	
活動内容 改善事項の図、 写真		

**Good Practice!**